

令和4年度 高体連報告書 水泳専門部

1 はじめに

令和4年度の専門部諸行事も、関係各位のご指導、ご支援により無事終了することができました。本年度は、佐賀県高校総体で3年ぶりに有観客で開催し保護者が見守る中大会を開催することができました。九州高校水泳競技大会、全国高校総体は、コロナウイルス感染症の感染拡大傾向に伴い無観客となりましたが、様々な感染症防止対策を講じながら昨年は制限があったリレー種目もすべて行われ、また一步前進することができました。皆様のご協力により大会を無事終了することができましたことを、関係団体の皆様には、改めまして、心よりお礼を申し上げます。

2 一年間を振り返って

<競泳>

佐賀県高校総体は、新設SAGAアクアで開催され素晴らしい環境の中で行われた。九州大会への出場権がかかっていることや佐賀県の高校チャンピオン決定する大会ということで、白熱した試合となり多くの好記録が樹立された。男女ともに個の能力が高く総合力のある佐賀商業が総合優勝を果たした。

個人では、寺川琉之介（武雄）は、100m背泳ぎで56秒53の佐賀県記録を樹立したほか、渋谷琥玲亜（佐商）は1年生ながら、50m自由形で23秒80の大会新記録で優勝、100m自由形でも優勝し2冠を達成した。同じく1年生の市丸愛翔（龍谷）は400m個人メドレーを4分27秒73の大会新記録で優勝、200m個人メドレーでも優勝し2冠を達成した。また、佐賀商業は男子400mメドレーリレー、800mリレーにおいてもハイレベルな記録をマークするなど、見応えのあるレースが展開され、素晴らしい大会となった。

全国高校総体においては、各県の代表選手が集結して大会が行われた。その中で、先述した寺川琉之介（武雄）が、100m背泳ぎにおいて自身の持つ佐賀県記録を更新し56秒05で見事3位入賞を果たした。また、1年生の渋谷琥玲亜（佐商）は100m自由形で、同じく1年生の市丸愛翔（龍谷）は400m個人メドレーでそれぞれB決勝（8~16位決定戦）に進出を果たした。今後の更なる活躍が期待される。

令和4年度佐賀県高校総体水泳競技大会

兼全九州高校水泳競技大会佐賀県予選会

開催日； 2022/05/28～2022/05/29

会場名； SAGA アクア

女子 総合

順位	所属名	得点
1	佐賀：佐賀商業	263.0
2	佐賀：佐賀学園高校	122.0
3	佐賀：佐賀西高校	54.0
4	佐賀：佐賀北	23.0
5	佐賀：致遠館高校	21.0
6	佐賀：武雄高校	12.0
7	佐賀：鳥栖商業高校	11.0
8	佐賀：唐津東高校	10.0
8	佐賀：龍谷高校	10.0

※団体総合8位は、リレー・個人の入賞数が同率のため、2校を8位とする。

男子 総合

順位	所属名	得点
1	佐賀：佐賀商業	273.0
2	佐賀：佐賀学園高校	81.0
3	佐賀：佐賀北	72.0
4	佐賀：唐津商業	59.0
5	佐賀：致遠館高校	56.0
6	佐賀：佐賀西高校	32.0
7	佐賀：佐賀清和	27.0
8	佐賀：龍谷高校	25.0

<飛込>

昨年度、SAGA アクアが完成し飛込競技の環境が大きく変わったことで選手の競技力が向上した。中でも佐賀学園1年の神田新が今年11月25日～12月4日にカナダで開催された世界ジュニア選手権の日本代表に選出されるなど、活躍の場を広げた。

大会成績

●佐賀県高校総体

日 時：5月29日（日）

場 所：SAGA アクアダイビングプール

成 績：男子3m飛板飛込	1位	神田 新	（佐賀学園高校）	466.00点
	2位	村岡 尚哉	（佐賀工業高校）	364.80点
男子高飛込	1位	神田 新	（佐賀学園高校）	415.35点
女子3m飛板飛込	1位	大内晴名	（佐賀学園高校）	388.45点

●全九州高等学校選手権飛込競技大会（末弘杯）

日 時：6月11日（土）

場 所：福岡県立総合プール

成 績：男子3m飛板飛込	1位	村岡 尚哉	（佐賀工業高校）	291.60点
女子3m飛板飛込	1位	大内晴名	（佐賀学園高校）	209.80点

●全九州高等学校飛込競技大会

日 時：7月17日（日）、18日（月）

場 所：鴨池公園水泳プール

成 績：男子3m飛板飛込	2位	神田 新	（佐賀学園高校）	493.55点
	3位	村岡 尚哉	（佐賀工業高校）	464.80点
男子高飛込	1位	神田 新	（佐賀学園高校）	438.25点

●全国高等学校総合体育大会水泳競技大会飛込競技

日 時：8月17日（水）～20日（土）

場 所：高知県立春野総合運動公園水泳場

成 績：男子3m飛板飛込	神田 新（佐学）	予選8位決勝進出
		決勝 459.20点 10位
	村岡 尚哉（佐工）	予選 242.05点 予選敗退
男子高飛込	神田 新（佐学）	予選8位決勝進出
		決勝 438.25点 5位入賞

<水球>

全九州高校水球選手権（末弘杯） R4 6 11～12
1回戦 対 国府（熊本）
15（4-3、2-0、4-2、5-5）10
2回戦 対 長崎西（長崎）
16（4-3、5-2、3-1、4-4）10
準決勝 対 鹿児島南（鹿児島）
4（0-6、2-3、2-4、0-7）20
3決 対 宮崎工業（宮崎）
7（3-3、1-4、2-5、1-3）15 第4位

全九州高校水球大会 R4 7 9～10
2回戦 対 福岡工業（福岡）
8（0-4、1-6、4-3、3-5）18 敗退

今年度は新入生6名を加えチームを構成した。

末弘杯では久々の4位となり九州大会でのシード権を獲得したが、九州大会では古豪福岡工業に立ち上がりから攻め立てられ立ち直ることができないまま終わった。

3年生卒業後は2年生が不在で1年生だけのチームとなるが今年度の経験を生かし、全国の舞台に戻る1年にしたいと強く誓った。